県民の友
昭和44年377号 9
発行／和歌山県知事室広報課
和歌山市小松原通り1丁目1番地

まだまだやれる

社会の・家族の一員として——

忠魂碑は、県道（海南鳥屋城湯浅線）沿いの、藤並神社の境内にある。むすこの霊よ安かれと、きょうもまた、落葉を集め、草をむしる。

きょうは待ちに待った例会の日。有田郡老人クラブ連合会長平松宗一さんから、老人福祉法の説明を聞く。

老後の生活を健全で豊かなものにし、よりしあわせな生活をおくろうと、県内五十市町村で、千四百五十七の〝老人クラブ〟が誕生し八万二千九百人のお年寄りが、各地で自主的な活動を続けています。

県では、このクラブを助成するため、本年度、千四百万円の予算を計上しており、このほか、老人が自由に利用していただける施設〝老人憩いの家〟を本年度中に県内に二ヵ所建設する予定で準備を進めています。

このたび、数ある〝老人クラブ〟のなかで、活発な活動を続けている〝天満松寿会〟をたずねてみました

通知のいらない例会

てんま　てるてる
　　みかんやま
ごせんぞさまから
　　うけついだ
そこに
　わしらの里がある

明るい歌声が聞こえてきます。ここは、吉備町天満松寿会老人クラブの会場です。

てんま　てみやげ
　　なんにしょう
紀州みかんか
　　くさもちか
いっそ
　わしらの心いき

お年寄りとは思えない若やいだ声、六十歳から九十四歳まで、平均年齢七十三・五歳というつどいとはどうしても思えないのです。

声も若いが、心も若い。天満松寿会の会長三井謙吉さん（74歳）は「三十七年六月の発足ですから、老人福祉法のできる一年前ということになります。発足した日を記念して、毎月二日を例会日にしていますが、最近では、通知もなしに、みんな例会日を忘れずに集まります。たまたま忘れて仕事に出た日には、嫁が田んぼまで教えにきてくれたというエピソードもあります。始めのうちは、嫁の悪口をいう人や、近所の良くないうわさ話をする人もありましたが、今ではみんな生き生きとして自分たちのことを話し合っています」と明るい表情で語ってくれました。

ズバリ楽しい行事計画

一月　氏神さんに初まいり
二月　雑巾（きん）づくり
三月　アマ奇術見学
四月　忠魂碑清掃、道成寺見学、血圧測定
五月　総会
六月　精神講話（小学校長）
七月　婦人会との話し合い
八月　忠魂碑清掃、老人福祉法解説
九月　バス遠足（広川温泉）
十月　交通の話
十一月　火災予防の話
十二月　忘年会

これが松寿会のことしの行事計画です。バラエティーに富んだこの活動が、松寿会の人気の秘けつかも知れません。

家庭的にも、社会的にも老人としての存在価値を認めてほしい。これがみんなの共通した意見でした。

天満松寿会では、三年前から、忠魂碑の清掃を行なっているほか、雑きんや花をつくって、学校や病院などにおくり続けているのです。

敬遠されない老人に

有田郡老人クラブ連合会長平松宗一さん（74歳）は「敬して遠ざけられることこれ程老人にとって悲しいことはありません。〝わしら若いときは…〟〝今どきの若いものは…〟この言葉は老人にとって絶対の禁句です。若い人たちと一緒になって語り、遊ぶ、これが一番大切でしょう。そのためにも、老人クラブなどでもっと勉強しなければなりません」とはなはだ手きびしい。

松寿会の生みの親、北畑久雄さん（吉備町収入役）は、「〝老人の日〟に見せる形だけの愛情よりも、老人が安心して余生をおくれる社会をつくること、すなわち、次の世代をになう若ものたちが、本当に自己にめざめ、社会を正しく守り育てて行く姿、これがなによりも、老人に対する最大のプレゼントではないでしょうか」と訴えられていました。

よりしあわせなあすを

八月八日午後二時、きょうもまた忠魂碑の清掃が続けられています。ゴミをよせる人、草をむしる人、額に流れる汗をぬぐおうともせず、黙々と働き続ける老人たち。その唇にはクラブの歌が口ずさまれ、その表情には一点のかげりもありません。どこの家庭にもありがちな嫁としゅうとの暗いいさかい、老人と若夫婦の意見の対立など、この人たちの家庭には、そんな暗い影は全く見当らないでしょう。

〝私たちにもまだまだやれる、社会の・家族の一員として…〟松寿会老人クラブは、生きることの喜こびをかみしめながら誰の力も頼らずに、よりしあわせなあすをめざして、きょうもまた黙々と歩み続けているのです。

広報ガイド

●紀州アルバム
毎日テレビ〈毎週土曜日〉10:35〜10:50／四国テレビ〈毎週日曜日〉7:45〜8:00
〈ただいま訓練中〉—和歌山県警察学校—
毎日テレビ／9月6日・13日　四国テレビ／9月7日・14日

《テレビ座談会》知事と語る　—老後を明るく—
毎日テレビ／9月20日・27日　四国テレビ／9月21日・28日
（橋本市の老人クラブ吉原長寿会の皆さんが大橋知事を囲んでクラブ活動の模様や老人の福祉問題など、いろいろ語りあいます）

●広報アワー　和歌山放送／12:30〜12:35
県政の動きやお知らせ／月〜金　県政マイクスケッチ／土
●県政映画（県内常設映画館で上映中）
県政トピックスNo.2〈あすをたくましく〉35㎜シネマスコープ

老人休養施設をご利用下さい

老人の方々のための気楽で、明るく、健康な休養の場所として、老人休養施設があります。
老人クラブの会合に、ご家族のレクリエーションに、お気軽にご利用下さい。

真静荘〈椿温泉〉

西牟婁郡白浜町椿　㊫富田・478番
紀勢本線椿駅から椿温泉行きバス
終点下車
宿泊（一泊二食付き）60歳以上…一〇〇〇円
休憩（午前10時〜午後4時）一人一〇〇円

かじか荘

海草郡美里町管沢　㊫国吉一〇二〜三番
野上電鉄生石口駅から長谷・毛原行きバス管沢下車
宿泊（一泊二食付き）……一一〇〇円
休憩（午前10時〜午後4時）一人二〇〇円

県議会だより

六月三十日招集された定例会は、七月十九日まで二十日間にわたって開かれ、各種の条例、補正予算などを慎重審議、いづれも原案どおり可決されました。

本会議中に行なわれたおもな質問、答弁は次のとおりです。

○＝質問　▽答弁

公害防止対策は

○住友金属などが発生源と思われる種々の公害対策は。

▽ノロを処理する際発生するガス対策としては、短時間に、大量の水を撒水することがよいとわかり、その設備を本年六月に完成した。そのため、ガスの量は減ったが臭気がまだ感じられる。今後十分に対策を講じたい。撒水の水は第二内港に排水されているが、現在は水産動植物に無害と思う。しかし引き続き測定し、硫化物の量が水産用水基準を超えるようであれば処理と対策を指示してゆきたい。

和歌山鉱化工業に対しても、原因、防止を指示し、責任者を明確にするよう指導している。

ダストも、第三製鋼の煙突を高くしたり、電気集塵(じん)機を設けるなど、種々対策を講じている。

住友金属との公害協定はできるだけ早く結びたい。

○海南港埋立地に建設する関電火力発電所の公害問題について、売買契約内容中の設備建設計画は。

三・四号機の増設は当初から計画されていたのではないか。

堺火力発電所の用地と総出力からして、出力予定が大きいにもかかわらず用地は半分以下の割り合いであるがどうか。県、和歌山市海南市と公害防止協定を結ぶ用意があるというがその考えは。また三・四号機を了解するのか。

温排水による漁業への影響は。

▽売買契約書の内容は、建設規模には触れていない。四十四年になってから三・四号機を合わせて全ぼうがはっきりした。堺火力発電所はその後増設されたが、発電用量に比例して用地が広くなるというわけでもなく、ただ、燃料タンクの用地が大きくなる。公害協定は、三・四号機増設にかかわらずきびしい協定を結びたい。一・二号機に関連しては、漁業権が買収されており、三・四号機には色々な面からきびしい内容の調査をしている。

原子力発電所誘致の諸問題

○原子力発電所問題に対する県の指導方針、安全性、漁業におよぼす影響、水問題、観光についての考えは。

▽原子力平和利用の一環として、一般的には誘致に賛成の立場をとっているが、問題が多いので、これを市町村に押しつけるものでない。隣接町村とも十分話し合うべきで、この線にそって対処しているつもりである。

安全性については、外国の実情も勘案し、国や学者を信頼し、安全と思っている。現在、科学的に進んでいるので、問題の発電所完成のころには温度差、流速も低くなり、漁業におよぼす影響も減ってくると思う。冷却水も放射能物質はきわめて微量で安心と思う。

太田川は流域面積、降雨分布、周辺河川の状況からみて余裕があると見ている。小匠ダムの多目的化は考えていない。

原子力発電所と観光は両立しうる。紀南でも、地域開発のための工業を忘れてはならない。設置がきまったときに十分検討したい。

○原子力発電所誘致について、その安全性、観光、漁業におよぼす影響、現地および隣接地の調整などに対する見解は。

▽一般的に平和利用の一環として賛成の立場をとってきたが、地元の意向を無視してまで押しつける気持はない。平和的に十分話し合ってもらうため、対策協議会の設置を進めたが、現地調査についての意見対立から中断されている。今後も調査を進めながら話し合いを進めるようにしたい。

紀北は工業、紀南は観光という考えは変わらない。原子力発電所は観光と両立しうると考えている紀南でも工業開発は無視できない地元で話し合いのつかぬときは、県議会、誘致近隣町村とよく話しあって対処したい。

市電撤去と過疎地帯のバス問題

○南海電鉄和歌山軌道線の撤去は市民の大半がその存続を望んでおり、現在の交通渋滞は、軌道線よりも道路行政の立ち遅れが原因との声が多い、これに対する県の考えは。話し合いの機関として、協議会を設ける考えは。

▽軌道線撤去は、和歌山、海南両市の議会の同意を要する。南海電鉄の出方により十分検討することになるが、軌道線の利用者ばかりでなく、道路利用者の意見もきき、さらに国体輸送との関連もあるので両市、南海と十分協議したい。

交通緩和のためには道路の改良が急務であり、工事に全力を注いでいるが、用地買収などで思うように進まない。軌道線問題が本格化した段階で真剣にとりくみたい。協議会方式については軌道線問題懇談会などを提案しているが、大衆討議の型は考えていない。

○奥地過疎地帯のバス運行の減回、休止をめぐり、住民と業者の間に紛争が起こっているが、過疎地帯や辺地の交通対策や、不採算バス路線に対する補助対策は。

▽現在、国会に上程中の過疎対策特別措置法が通過すればこうした問題も打開されると思う。県下のバス免許路線四百三十九のうち十八が休止中と聞いている。これらも輸送力強化促進委員会、地元、バス業者などの話し合いで解決しつつあるが、なお一層の努力を続けたい。不採算バス路線に対する補助金は、他府県の制度を十分検討し、山村特別対策事業費との関連も考慮して前向きで対処したい

保健衛生と学校教育

○県下に発生中のスモン病について。その原因、現況、防疫対策は

▽発生状況は、本年五月までで、真性七十六、疑似二十であり、女性に多い。早期治療が有効で、保健所、医師会と協力、届出など県民に周知徹底し、今後、専門家と話し合い、早期治療に努力したい

現在、原因は不明であるが、高野町に発生が多いので高野口保健所を通じ調査中である。県民の保健衛生上、重要な課題であり、感染経路などがつかめない現状であり、発生状況を監視しつつ、積極的に対策を講じたい。国では研究班を設けて研究中であり、本県としても治療に全力をつくしたい。

○市内の私立病院給食問題について、県で合併促進をしたいとのことだが、この真相は。また県が関係して指導したのか。

▽各病院は医療法により給食施設を設けているが、私立病院協会が数年前からその運営、合理化を図り、本年五月私立病院事業協同組合を結成し、その第一案として、給食材料協同購入を行なった。県は給食の合理化、栄養確保などについての相談には助言したが、ご指摘のようなことはない。

○中学校の有免許者で、小学校に採用勤務している者は何人か。郡市別には。また、小学校の免許状をとるための研修費支給の考えは

▽和歌山市三十六人、海草十人、那賀二人、伊都九人、有田二人、日高六人、西牟婁三十一人、東牟婁十一人、計百七人である。近年中学生が減少し、教員採用の幅がなく、小学校は法改正もあって新採の余裕があるが、希望者が少なく、中学校の免許者が、小学校へまわる現象がある。中学校免許者は中学校へ戻すべきだと考えるが教科の関係からも思うようにゆかない。小学校の資格をとるための援助は十分検討したい。

○同和対策特別措置法が成立したが、この法律と人尊(同和)教育は。部落差別の認識、課題設定の基礎において矛盾するため、人尊(同和)教育は廃止すべきだと思うが。また、差別をなくするための学校施設の充実、基礎学力や体力の充実をはかるための計画は。

▽部落差別の問題は、心理的な差別と、実体的な差別に区分されており、教育の立場で、心理的差別の方に重点をおいているが、同和の教育加配、就職上の指導問題にしても実体的差別を認めている。

人尊(同和)教育は、こんにちなお現存する部落差別に、特に配慮を加えて行くためにも、学校での同和教育は矛盾しないと考え、方針の変更はできない。また教員の増加配については、国の五ヵ年計画の数よりも、本県の基準が上回っている。今後とも実情をよく検討し、前向きで取り組みたい。

○こどもが遊んだり、スポーツをする場所がない。こどものために学校運動場の解放を。

▽昭和四十四年度に四市二町に学校開放のモデル校を設定し、管理者代表、学校側代表、地域の体育委員、スポーツ少年団代表の方で開放運営委員会をつくり積極的に県下全域に広めたい。

中小企業と経済問題

○中小企業に対する融資制度の限度額引上げを。また諸手続きの簡素化を。

▽雇用安定促進融資は一億円の枠で進めているが、さらに増枠を考えたい。夏期融資制度も、今後の経済にそくしてゆきたい。近代化資金は、本年度から五百万円に引き上げた。手続きの簡素化は、書類省略などで改善してきたが、近代化資金は国の関係があるので政府に要望してゆきたい。

○アメリカの外材輸出制限が県木材業界におよぼす影響とその対策は。また、製品輸入に伴う港湾の様態変化にどう対処するか。

▽輸入面で現在のところ影響はない。輸出制限に関係なく現地価格が上っており、国でも価格の上昇を予想しつつも、輸入に力を入れる考えであり、県もそうしたい。製品輸入基地としての港湾の変化には、輸入量がつかみにくく、今後、通産、農林当局の意向をきいて対処したい。新宮港は紀南総合開発の拠点として、その整備拡充を考えている。文里港も、必要な港域の拡大変更を考えている。

○現在、田辺市には五つの卸市場があるが、県で統合建物を考え、一ヵ所へ集約をはかる意図は。

▽田辺市の青果市場は交通的、機能的にも限界に近く、市に協議会を設け検討中である。県としては中央卸売市場法により人口十五万以下の地方市場として統合整理するのが望ましいと思う。公設市場の施設には三分の一程度の国庫補助や起債の途もあり、今後関係者の意見を聞いて指導したい。

○今年のみかん生産量と、価格の予測は。シベリアへの輸出の現在までの経過を。

▽今年の生産量は、全国で約二百万トン程度とみられ、価格も昨年より相当上向くものと予想されるみかんのソ連圏輸出は重要で、ソ連大使館や、極東貿易事務所など関係機関を訪問し、資料収集に努めている。また、日ソ貿易協議会に参加するなど前向きに取り組んでおり、今後も一層努力したい。

国道24号バイパスと阪和高速の促進

○国道二十四号線の交通渋滞は、和歌山市嘉家作、田井の瀬間で特に著しいが、この対策と、建設当局との交渉経過は。また、岩出付近のバイパス計画の進展状況は。

▽国道二十四号線のバイパス計画は、路線調査中で、建設省に早期実現を要望する。岩出バイパスは岩出町備前から打田町上野まで、延長五㌔が決定され、本年度中に用地買収が行なわれる予定である。

○阪和高速道路建設の用地買収交渉がおくれているが、担当職員のみにまかせず、幹部職員も直接折衝に当たるべきである。現在の経過は。

▽知事以下幹部職員が第一線に立つべきで、私も海南へ行ったが、今後も必要であれば現地に出かけたい。

用地交渉の現況は、府県境から紀の川左岸までは一部を残し、測量、各種調査が順調に進んでいる紀の川左岸から海南市藤白までのうち、和歌山市内は三百㍍を残し測量調査もほぼ終わって、近く地元と設計内容協議の予定で、海南市内は一部立入り了解をえたが、ルート変更を主張している部分についても、話し合いが好転している現状である。

府県合併への関心は

○知事は府県合併に強い意欲をみせているが、県民の合意は、水資源、電源の開発やこれに伴う公害についても難問題があり、他府県の考えも必ずしもそうでない。また、電源開発でも、本県は、将来多くの余剰を生じることが予測される。たとえ一部市町村に税収をえても、除去に困難な火力発電所の公害などもあり、広域圏構想にも多くの問題がある。これらに対する見解は。

▽府県合併の青写真には、いろいろ含まれると思う。本県は、住民の意向を考えながら対処したい。

海南火力発電所の三・四号機の公害は慎重に取り組みたい。現在関電側に設問し、回答を要求中であるが関係市町村の意見が極めて重大であるため、これを十分考慮して最終的な考えをもちたい。

医大紛争と派遣医問題

○和医大の済生会有田病院派遣医三人が、六月三十日に引き揚げたその後任として一教授が個人的にあっせんし、一ヵ月の期限付きで二人の医師が着任したが、このような状態では病院運営に重大な支障を与え、納得できない。また、派遣医確保のための補正予算が上程されているが、予算の食い逃げにならないか。医師派遣の指示はどこでするのか。八月以降医師不在の有田病院に対する配慮は。

▽大学人事は、教特法のたてまえから、特別の不適格性を認めない限り、教授会の決定を尊重する立場にあるが、大学問題の内部的なあり方、派遣医についての考え方など学長と十分な話し合いをしたので努力してくれるものと信じている。派遣医に対する予算上程には、大学当局に強く要求し、積極的に取り組むよう要請している。

防災対策と住宅行政は

○消防防災業務を一元化した機構組織とし、より強力な体制を。集中豪雨などによる土砂くずれ、堤防決壊など、民家に危険をもたらすおそれのある箇所の改修計画は

また、危険民家への指導、無計画な宅地造成や建築に対する指導の現況を。

▽一元化を図ることは緊要と思うが、国の所管の関係上、どうまとめるかが問題。現在、災害シーズンは、週番部長制度を設けて調整しつつ防災指揮をしているが、種々の面から検討している。土石の流失発生予想区域は、毎年、危険度の高いところから砂防工事を行なっており、その他の箇所は、水防計画で関係市町村に明示し、防災体制の徹底を計っている。

○住宅管理行政の万全を図り、不正入居者の処置、入居基準の緩和個人住宅の建設資金に県独自の融資制度を。団地広場を整備し、住民の憩いの場をつくる考えは。

▽管理体制の強化は前向きで進めたい。名義人の相違する者、条例に基き継承できる者などを再調査し整備中であり、また、入居者の基準改正は建設省で検討中で、近く発表される予定である。

県独自の融資制度は考えていない。なお、団地広場の整備と美化は、町を美しくする運動の一環として取り組みたい。【県議会事務局】

県議会六月定例会
県政全般に活発な質問戦

記事訂正とおわび

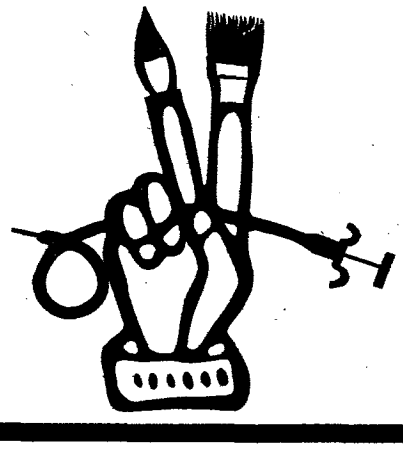
県民の友八月号第四面「県議会だより」中、議会運営委員会の正副委員長の「◎○」印は登載のあやまりでしたので、訂正させていただきますとともに、慎しんでおわび申しあげます。

みんなの消費生活展

むだをなくそう

●9月18日～22日
●和歌山市本町　丸正百貨店3階催会場
●主催　和歌山県
新県民運動＝むだをなくそう＝

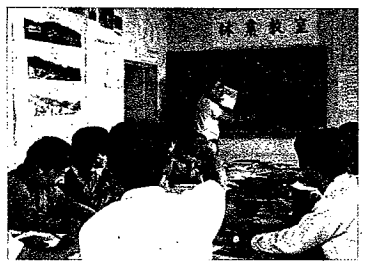
第2回
県勤労者美術展
●9月11日～15日
●県立美術館（和歌山城内）



●作品募集　洋画・日本画・書道・写真・彫塑・工芸・生花
●応募資格　県内に職場または住所を有する勤労者（職業専門家を除く）
●搬入受け付け　9月6日・7日　県立美術館へ
●お問い合わせ　出品申し込み用紙の請求は、県庁労政課、県事務所へ。

山村振興は ぼくらの手で

『林業教室』に燃える若い力



質問の連続で、講義時間もついつい延長

八月四日から十日まで、西牟婁郡中辺路町の県林木育種場で、熊野高校林業科の生徒を対象に、「林業教室」が開かれました。

県が、林業振興のにない手となる後継者育成をめざして、昭和三十九年から、毎年、県内一円で開いているものです。

ことしの参加者は十人。

いずれも、林家の息子や、将来、山村を背負って立とうという男子ばかり。夏休みの間に、机の上の勉強だけでなく、実地に、新しい林業のやり方を吸収しようという意気に燃えています。

授業は、苗畑病虫害の防除、林業機械の使い方、さし木、つぎ木など実習を中心に、造林学、山村産業の振興策など、新しい林業経営の進め方、それに、国有林見学など、変化と行動力に富んだ毎日です。生徒たちも、やることの一つ一つが着実に身につくとあって期間中、欠席者ゼロという好成績でした。

「さし木による苗木づくりなど、新しい技術が覚えられた」林業教室二回目の磯地君。

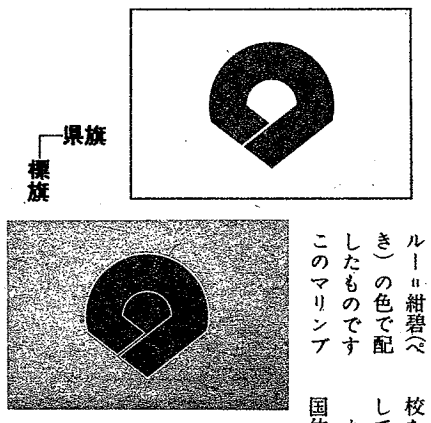
「やっぱり、教科書より実地勉強。将来は、普及員になって、新しい林業技術を普及したい…」熊野高校OBの坂口君。

いずれも、実地に見たり聞いたり、自分でやってみる学習方法とあって、わずか一週間でもうひとかどの専門家ぶり。さっそく、習い覚えた技術を生かすのだと、思い思いに自家の営林方法を頭の中でめぐらせながら、若者たちは帰って行きました。

「よい木は、よい苗木から…」新しい"さし木"育苗法もマスター

白地に黒潮色＝県旗

スカイブルー地にオレンジ色＝標旗



国体など、各種式典に使われる「県旗」が、八月七日、正式にきまりました。

白地に、県章をマリンブルー＝紺碧（べき）の色で配したものです。このマリンブルーは県の躍進を象徴する黒潮の色を模したもので、今後、県の行事などに掲揚するほか県の出先機関や学校などにも掲揚することにしています。

また、県旗制定とともに国体などに参加する競技団体が使用する「標旗」も同時に決定。これは、中央にミカンをあらわすパッションオレンジ＝黄味だいだいの県章を、スカイブルー＝青色地に浮かしたものです。

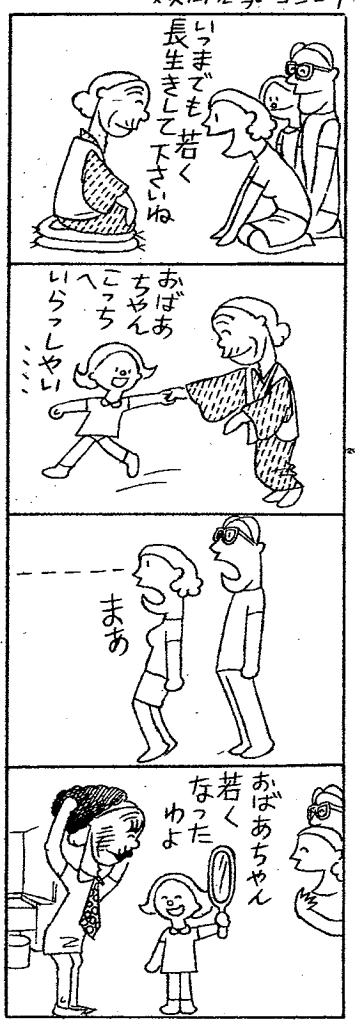
今まで、国体参加のとき県旗がなく、体協旗などで代用していましたが、ことしの長崎国体から使用します。

なお、県旗、標旗とも、大きさは、たて二に対し、横三の割り合いで、県章を中央に配置しています。

敬老の日

長生きしてね……

漫笑街グループ　ハシモト　ヨシヒサ



グレープフルーツ 自由化しない

農相・精力的に実情視察

農業施設視察のため、長谷川農林大臣が、八月十三日、来県。県庁で、大橋知事は、農業基盤の整備や山村振興対策などについて陳情を行ないました。

農相は、〝魚屋さん〟と自称するほど、庶民的で型破りの大臣。定評どおり、記者会見でもざっくばらんに所信を表明しました。

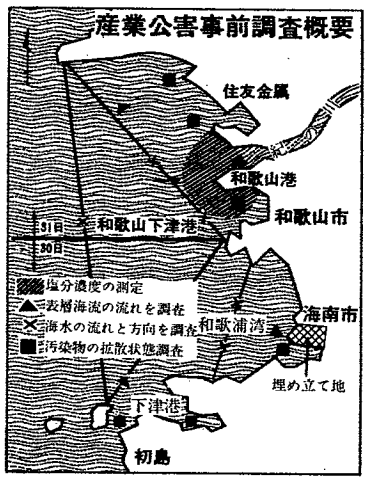
ミカン問題では、「昨年は、過剰気味だったが、品質のよいものは、不足していたように思う。品質向上への努力が必要だ。グレープフルーツの自由化は、私の在任中は絶対にしない」と発言。

農相は、このあと、桃山町の桃の選果場や那賀町の省力栽培モデル園、和歌浦魚市場に足を伸ばし、気さくに農漁民から陳情をうけるなど、近代化と取り組む農林漁業界の実情を精力的に見て回りました。

県庁で大橋知事と歓談する長谷川農相

〝海の公害〟防止へ

和歌山～下津沖　海水を追求



〝海の公害〟にメスを入れる、県と通産省の「和歌山・下津地区海域産業公害総合事前調査」が、七月三十・三十一日の両日、和歌山港から有田市初島沖一帯にかけて行なわれました。

工場排水などによる海水の汚濁拡散状況を知り、海の公害をふせぐための調査です。

第一日目の調査は、海南港埋め立て地に建設されている関西電力海南火力発電所の排水口付近と、初島沖の二ヵ所で色素を投入。そのの拡散移動の状況をヘリコプターで追跡、上空からカラー写真に撮影し、船上からは、濃度、水温を測定するなど、工場廃液で汚されてゆく紀州の沿岸の実態をさぐりました。

また同火力発電所が操業すれば発電機の冷却水の排水で、排水口付近では海水が、二度から七度近くも高くなるといわれ、漁業への影響をあやぶむ声が出ており、この水温変化も色素の濃度を測定することによって綿密に調査しました。

第二日目は、和歌山市の染色工場や化学工場から出る工場廃液が漂よう和歌山港入り口付近と住友金属和歌山製鉄所沖を重点に、同様の調査を行ないました。

×　×　×

このあと、同海域の現状と、将来、埋め立て造成が完成した場合の地形の二つの模型をつくって、模型実験を行ない、さきの実験データと突き合わせ、各企業に対する公害防止対策の指導資料にするようにしています。

カメラアイ

―作品募集―

今月のテーマ「敬老」

締切り　十月十日

規格　白黒で、キヤビネ

応募方法　作品裏面に、題名、住所氏名、職業と、簡単な撮影意図を書いて、県広報課「県民の友」係へ。

作品紹介

和歌山市有家八九　榎原生典(33)　和歌山郵便局勤務

さわやかな朝の空気を吸って、思い思いの動作。元気に体操することもたちをとらえました。

×　×　×

各地で、さかんな夏休み朝のラジオ体操。スローシャッターで、動きをみせるなど、手なれた写真です。

ただ、雑然としているのが、ちょっと残念。

明るく豊かな農村づくり

農業まつり

主催　和歌山県

《紀北会場》

●日時　9月23日午前10時～12時

●催し　農民賞授賞、農業経営、生活改善の実績体験発表

●会場　和歌山駅前、農協会館

●日時　9月24日午後1時半

●催し　みかん経営講演、日本大学的場教授

●会場　和歌山駅前、農協会館

●日時　9月23日～25日午後3時

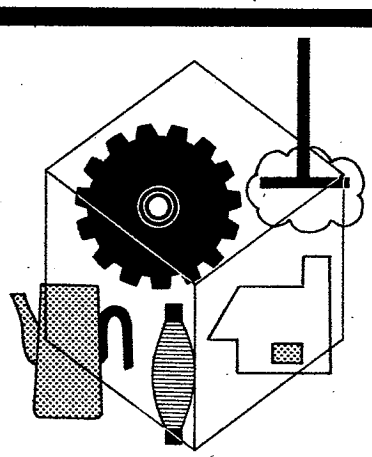
●催し　農林業総合展示・農業機械および資材展・花卉花木展・農事相談その他農業試験場参観デー（那賀郡貴志川町）

●会場　和歌山駅より徒歩5分　県立体育館

《紀南会場》11月23日～24日　南部高校で高校祭と共催

あすをひらく――

第2回 県工業振興展



10月17日～19日　県立体育館（和歌山市向ノ芝）

躍進する大企業、近代化へ脱皮する地場産業、苦悩しつつ前進する伝統産業を一堂に公開――

●おもな出品物、催しもの

発明コーナー、家具、繊維、日用雑貨、みやげ品の即売、コンピューター実演、テレビ電話、中小企業相談室、サイエンスカー、近代ハウス、建設機械、自動車ショー、その他アトラクション

カいっぱいがんばろう

新宮市で心身障害児夏季キャンプ

青い海　真っ赤な太陽、やけつくような日射しを浴びて、砂は火のように熱いそれでも、こどもたちは無心にさわぐ。海中におどり込んでも、水に浮かんでいるのがせい一杯。まわりの人たちのように自由に泳げない手足を、懸命になってばたつかせている。海はおろかプールにもつかったことのないこどもたち、付き添いの大人たちの手を振りほどいて、自分の力で泳ごうとする姿、こどもたちはきょうの日を指折り数えて待っていたのです。

那智海岸で水泳を楽しむこどもたち　県心身障害

県心身障害児夏季キャンプ大会は、ことしで六回目を数え、県ならびに県心身障害児父母の会主催で、八月二日から六日間、新宮市三輪崎小学校を中心に、東牟婁地方で、全県下の心身障害児とその父兄二百余人を集めて行なわれました。

キャンプファイヤーや水泳訓練など、こどもたちの指導部門を受け持ったのはボランティヤーを買って出た八人の和大生。給食は信愛短大の四人のお姉さんたちが腕をふるい、万一の救護に、地元通（てい）信診療所の辻医師と、高等看護学院の四人の女生徒があたりました。

文字どおり寝食を忘れてこどもたちの世話にあたられた県心身障害児父母の会副会長の串一夫さん(47)は「県のご協力でこんな立派なつどいを持つことができ障害児の親として、これ以上の喜びはありません。こどもたちはもちろんのこと参加されたご父兄にも一生の思い出となることでしょう。新宮市長さん始め、地元の方々にずい分お世話になりました。近年、心身障害児にも暖かい手をさしのべていただき、福祉年金も県内三市八町で支給されるようになり、県のお力で、重度の心身障害施設も整備されつつあり、よろこびに耐えません。いまこそ県下の心身障害児の親が一本になって、こどもたちのしあわせをはぐくんで行ってやらねばなりません」と眼がしらをおさえていました。

キャンプファイヤーを囲んで、喜々としてたわむれるこどもたち、昼間の疲れでグッスリ眠り込んだこどもたちのそばで夜の更けるのも忘れて真険に語り合う

お父さんお母さん。今こそ県民一人一人が暖かい目でこの人たちを見守り、心の底から明るく笑っていただける日の一日も早いことを祈らずにいられません。

たかまる国体ムード

黒潮国体の会期決定を記念して、八月八日、和歌山市で記念パレードが行なわれました。

パレードに参加したのは市内六高校のブラスバンド部員百七十人と八中学校の二百三十人、県和商高、明和中のバトンガール四十人に、県警音楽隊員三十人が参加、午前十時、本町公園と吹上小学校から、それぞれプラカードやバトンガールを先頭に、県庁までパレード、国体ムードを盛りあげました

記念式典は、十時三十分から県庁前広場で行なわれ県庁入り口に特設された三本の掲揚台に、国旗、国体旗に続いて、白地に紺色の「ワ」の字を染めぬいた県旗が掲揚され、真夏の空にはためきました。

大橋知事は「会期も決まり、町に村に国体ムードが盛りあがってきました。これを機会に、県をあげて準備を急ぎ、黒潮国体の成功をめざして、全県民とともにがんばりたい」とあいさつ　参加者を代表し相蔭高三年上野正則君（17）が、「明るく、豊かに、たくましく。のスローガンのもとに黒潮国体 を成功させるため、わたしたちも一層努力します」と、力強く若人の誓いをのべ、県民スポーツの歌の大演奏のうちに、五色の風船が空に舞いあがり参会者一人一人の胸に、黒潮国体の成功を焼きつけて行きました。

ふるさとの話

和歌山から来た列車が由良駅に着こうとする直前、右側にポツリと一つ寺門が見える。これが興国寺の大門である。

鎌倉三代将軍源実朝（みなもとのさねとも）の近臣葛（かづら）山五郎景倫（かげよし）が、建保七年（七百五十年昔）の正月、実朝横死の報により、ただちに高野山に登って主君の菩提（ぼだい）を弔った時、実朝の母、政子がこれを聞き、その祭祀（し）の料にと、景倫に紀伊由良の荘をくださったのがその起りで、安貞元年（千二百二十七年）、実朝の石塔がここに建てられた。

興国寺　〃灯ろう焼き〃

鈴木繁三

大門を通って、山下から石畳を登り、さらに石段を登って中門に至れば、この壇上に伽藍（がらん）が建ち並び、本堂に正面する境内には、鷲峰（しゅうほう）十境の名所が点在している。

山内は老木うっそうと繁り、本堂、開山堂、奥の院などが並んでいる。

奥の院に至ると、像高一尺あまり、寄（よせ）木造りの国指定重要文化財、法灯国師座像が安置されている

開山興国寺には、古くから伝わる色々の行事があるが、なかでも、旧歴七月十五日（新暦八月二十七日）の〃灯ろう焼き〃はあまりにも有名である。

この日は近郷より善男善女が参詣（けい）する。これは、祖先の霊を慰めるために、鎌倉時代から行なわれているもので、本堂では、正面左側に開山高灯ろうをつり、右側では、六斎念仏衆（ろくさいねんぶつしゅう）によって、午後六時から曲譜が奏ぜられる。

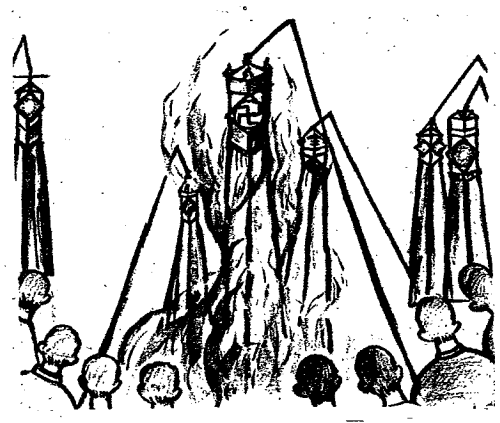
これが終わると、七時ごろから、白張り灯ろうが三年忌（き）七年忌などの家から集まってくる。その数八十から百に達し、十時ごろには、高灯ろうを先頭に、導師（興国寺管長）、伴奏（太鼓、しょう、六斎念仏）壇徒（だんと）の灯ろう、松明（たいまつ）などが、無常堂寺まで行列をなして行く。

ここで大松明四本が加わる。いづれも長さ四尺、周囲三尺に近いもので、重さ三百㌔もあり、両端に点火し、四人の若ものがかついで行く。広場では、小さい松明を持った二十人の人たちによって松明おどりが行なわれる。

最後には、大松明の炎々と燃えさかる中に、開山高灯ろうが先に投げ入れられ続いて大小の精霊の灯ろうが、次々と各家族の手から投げ込まれ、真紅の炎は赤赤と夜空に燃えたち、やがて送り念仏をとなえる頃には火勢も劣ろえ、午前一時ごろに行事は終わる。この〃灯ろう焼き〃は、県の無形文化財に指定されている。

興国寺は、諸人の信仰に禅の修業に、四季を通じてにぎわいを見せている。

筆者は、由良町役場建設経済課長補佐



窓なし鶏舎で成長促進

中辺路町にブロイラー団地

西牟婁郡中辺路町に、四月から、食肉用鶏・ブロイラー団地が出現、地元の農家の関心を集めています。

ブロイラーは、元ヒナを飼育して二㌔に太らせ出荷するまで七十日間ですみ、短期間で現金収入化できます。また土地の安い山間地域でも飼え、手間が少なくてすむなどの条件に恵まれ、最近では農協や業者が買い付け単価の最低基準をきめ、生産コストの安定をはかるなど、山村向けの有望な産業として脚光をあびているものです。

同町では、現在、二軒の農家が、農協から近代化資金の融資をうけ、一軒当たり二万羽を飼育しています

窓なしのドンネル型鶏舎で、ヒナから出荷するまで暗やみの中で運動をさせないで成長を早める という近代的な集団飼育法を用いており、外形は、さながら、ブロイラー鶏舎の団地といったところ。その一軒三人兄弟の共同経営でやっている前田さんは「すでに七月に二千羽を出荷、とにかく、七十日で現金化できるのが魅力。外に働きに行っていたのをやめました」といいます。

同町農協でも、近く直営で四万羽ほど飼育するといっており、山間地の新しい産業として、その成果に注目したいものです。

おしらせ

採用試験を行ないます

○県職員（初級）

受験資格　①昭和四十五年四月以降に採用予定、昭和二十一年四月二日から昭和二十七年四月一日までに生まれた者　②学校事務で、昭和四十四年十二月ごろ採用予定—昭和二十年四月二日から昭和二十六年四月一日までに生まれた者で、すぐに採用に応じられる者

試験日　九月二十八日（日）

場所　和歌山市、田辺市、新宮市

試験の方法　第一次（教養、適性など）第二次（口頭、身体検査、作文、第一次合格者に十一月上旬）

受験手続き　九月十三日（土）までに、申し込み用紙（県人事委員会事務局か、もよりの県事務所で交付）に必要なことを記入して、県人事委員会事務局（和歌山市小松原通一、県庁内）へ（当日消印有効）

○警察音楽隊員

採用予定人員　四人

楽器の種類　クラリネット、サキソホン、フルート、トランペット、ホルン、トロンボーン、ドラム

受験資格　昭和十八年四月二日から昭和二十七年四月一日までに生まれた男子。学歴は問いません。

試験日　九月二十二日

場所　和歌山市

試験の方法　教養試験（高卒程度で択一式）専門試験（実技、その他）口頭試験

受験手続き　九月十三日（土）までに、①履歴書（市販の横書き用紙に写真をはって、右肩すみに志望楽器名を記入）②レントゲンフイルム③受験通知用七円切手をはって、県人事委員会へ（当日消印有効）

詳しいことは、県人事委員会事務局か県警本部警務課、もよりの警察署へお問い合わせください。

自動車は〃夜〃盗まれる

車の盗難の約九十％は、午後六時から翌朝の五時までとなっています。そして、その八十％は、道ばた駐車の被害です。

△駐車には、必ず、盗難防止を

ちょっとした所用と思っても、○エンジンキーは抜く　○ドアキーをかける　○車検証、免許証、貴重品は、車中に置かないこと。

△車にも、防犯錠や警報装置を

ドアキー、エンジンキーがなくても、ドロボーは、窓ガラスを割り、配線直結という手を使います。愛車を守るため、○ハンドル、チェンジレバー、クラッチ、ブレーキにかける錠　○人が乗ったり、ボンネットやトランクをあけるとクラクションが鳴り続ける警報器などをつけることも一つの方法です。

最近、三億円事件など、車を使っての犯罪がふえています。しかも、そのほとんどが、足のつかぬよう盗んだ車を利用しています。

あなたの車が、盗まれたり、凶悪犯罪に利用されないよう、もう一度、愛車の防備を考えてみてください。

台風シーズン来る

台風シーズンに備えて、各家庭では次のことに心がけてください。

1、ラジオ、テレビなどの台風ニュースに注意し、進路をよく知っておく。

2、停電に備えて、懐中電灯、ローソク、トランジスターラジオなどを用意する。

3、いざという時の避難場所と、安全な道順を確認しておく。

4、非常食、飲料水を用意し、貴重品、医薬品などを身の回りにおいておく。

5、大雨が長く続くと、地盤がゆるみ、がけくずれなどの起る恐れがあるので早期避難を心がける。

6、避難するときは、火の元に注意し、戸締りを完全にする。

7、だれ下がった電線には触れないで、電力会社に連絡する。

引き揚げ者の皆さんへ

引き揚げ者特別交付金の請求は、昭和四十五年三月三十一日までです。

まだ、請求書を提出されていない方が多く残っておりますので、至急、もよりの市役所、町村役場へ提出してください。

移動県民相談室

九月十七日（水）東牟婁県事務所

十八日（木）県漁民研修所（串本町）

一般相談、中小企業金融相談、交通事故相談、内職相談のほか、弁護士が担当する無料法律相談も同時に行ないます。